

# 令和5年度事業報告等について

## 事業の展開

- ① 社会福祉法人和楽会は「己の和」、「連帯の和」、「地域との和」を基本理念とし、これらの和の三原則により生まれる調和が私たちの求めていく福祉である。この三原則に則り、入居者・利用者により良いサービスの提供に努めた。  
特に、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業部においては「入居者様に寄り添った支援を目指す～ゆっくり・やさしく・穏やかに～」を、通所介護事業部においては「和楽うデイサービス～和む・楽しむ・笑うの3つを目指す～」を基本方針に掲げサービスの提供に努めた。
- ② 新型コロナウイルスの感染症法上に位置づけが令和5年5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行した。  
和楽会では、引き続き広島県による高齢者施設等の従事者に対する検査の実施や、職員の極め細やかな感染対策を継続し、秋祭り等の行事の再開を行った。
- ③ 経営課題は、令和4年度の大きな減収をいかに改善していくか、そのための対策として、利用者の実人数をいかに増やし、施設内においては業務の無駄を削減し節約に徹した運営に努めた。
- ④ 大規模災害や感染症等、多岐に渡るリスクが発生した際に入居者・利用者様に必要なサービスを安定的・継続的に提供するために、組織として迅速かつ的確に対応するため、業務継続計画（BCP）の策定を行った。

## 【決算報告】

### 事業活動計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	決算
サービス活動収益計	539,815
サービス活動費用計	569,342
サービス活動増減差額	△29,527
サービス活動外収益計	6,268
サービス活動外費用計	2,627
サービス活動外増減差額	3,641
経常増減差額	△25,886
特別収益計	0
特別費用計	33
特別増減差額	△33
当期活動増減差額	△25,919
前期繰越活動増減差額	798,514
当期末繰越活動増減差額	772,595
その他の積立金積立額	30,000
次期繰越活動増減差額	742,595

### 資金収支計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	決算
事業活動収入計	546,083
事業活動支出計	517,184
事業活動資金収支差額	28,899
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	31,761
施設整備等資金収支差額	△31,761
その他の活動による収入計	673
その他の活動支出計	30,683
その他の活動資金収支差額	△30,010
当期資金収支差額合計	△32,872
前期末支払資金残高	394,507
当期末支払資金残高	361,635

### 貸借対照表

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	決算
資産の部	
流動資産	375,574
固定資産	923,106
基本財産	677,639
その他の固定資産	245,467
資産の部合計	1,298,680
負債の部	
流動負債	34,890
固定負債	243,427
負債の部合計	278,317
純資産の部	
基本金	234,768
国庫補助金等特別積立金	0
その他の積立金	43,000
次期繰越活動増減差額	742,595
次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	742,595 △25,919
純資産の部合計	1,020,363
負債及び純資産の部合計	1,298,680

## 和楽会への苦情について

- 令和5年度、社会福祉法人和楽会への苦情は、特養4件、短期入所0件、通所13件、居宅1件、訪問1件、包括0件合計19件ありました。  
苦情は担当事業所にて会議を開き、今後改善するよう職員に周知徹底しました。
- 事業報告等の詳細については、独立行政法人福祉医療機構（ワムネット）のホームページより、社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムウェブサイトにて公表しております。